

高齢グマに配慮した牧場づくり



改修したB牧場のスロープ=11月1日

飼育員は見たべあ！

のぼりべつ
クマ牧場通信
78号

2023年
12月1日

発行

のぼりべつ
クマ牧場
動物課

高齢個体に

安心安全な放飼場を



高齢個体を放飼するB牧場内のスロープを改修しました。改修した部分は床面と、スロープ横にある転落防止のための壁です。

B牧場は他の牧場とは違い、2階建て構造となっています。既存のスロープは床面がエキスパンドメタルだったので、歩様に異常の見られるクマが歩く際には爪などが引っかけたり、転んでしまうことがあります。B牧場で飼育しているクマは高齢の個体ばかりなので、少しの転倒でも大きなケガに繋がります。爪が割れたり、脊椎などを痛めたりと、今後の生活に影響を及ぼしかねません。こういった事故を未然に防ぐために、合板と垂木を使い、スロープを改良しました。また、床面を歩きやすくしただけではなく、スロープから落ちてしまわないように、側面にも壁を設けました。

改修後の放飼初日には、スロープの一番低い所からではなく、途中から登ろうとして尻もちをついてしまう様子が確認されました。でも、最近では慣れてきた様子でスロープを使い、2階に登ることができています。中には未だ少し登

りにくそうにしている個体もいるため、クマたちがよりスムーズに登れるように滑り止めの数を増やすなど、まだまだ改善の余地はありそうです。

これからも高齢・若齢問わず、クマたちが快適な生活を送れるように放飼場内の改善を行っていきたいと思います。

まわりのくまさん



イモリ (34)

丸々とした目に、小さな耳がチャームポイント。他のクマに動じることのないマイペースな性格。

繁殖期になると、若いオスの匂いを気にして目はいつもハート状態。最近では寒くなってきたこともあり、お部屋の中でまったりしたり、放飼場で日向ぼっこをしながらお昼寝するのがマイブーム。時には、他のクマの体の上に顎を乗せて寝ることも。食欲は人一倍で、お婆ちゃんとは思えないスピードで餌に飛びつく食いしん坊なクマさんです。

動物慰霊祭開催

のほりべつクマ牧場では毎年、11月7日に、動物慰霊祭を行っています。

慰霊祭は、この1年の間に亡くなった動物を追悼する行事です。今年にはエゾヒグマの「マサコ」「カコ」、エゾリスの「サン」「サツキ」、アヒルの「メイメイ」「ロッシー」「ポチャ」「ピンキー」が亡くなり、飼育員一同冥福をお祈りしました。毎日当たり前のように共に過ごしてきた動物が亡くなることはとても心が痛みますが、同じ群れで過ごしてきた他の個体からも、いつもと違う雰囲気を感じられることがあります。もしかすると何かを感じとっているのかもしれない。

当日は、常連のお客様も来園され、リンゴなどのお供え物を頂きました。のほりべつクマ牧場の動物は、多くのお客様にも愛されていると実感します。

今後もクマ・リス・アヒルが更に過ごしやすい環境を作り、幸せに、そして長生きできるように動物福祉の向上を目指し、飼育員一同がんばっていきます！



獣魂碑に手を合わせる飼育員

＝11月7日

今月の一旬

くま
少しづつ

整え始める

冬支度



アヒルのハニー

療養生活



アヒルのハニーは、体調不良により今年の8月6日に治療を開始し、現在も継続してケアに取り組んでいます。今は足の擦り傷からの細菌感染で炎症が起こり、翼を地面につけて歩行するなど、移動が非常に困難な状態です。足の腫れもあるため、普段はクッションの上で座っていることが多くなっています。クッションは、人間用のゲルクッションを使用しており、なるべく足に負担がかかりにくいような対策をしています。



ゲルクッションの上で休息

するハニー＝11月16日

治療内容は、筋肉注射と経口で薬を投与しています。できるだけストレスをかけないように筋肉注射の数を減らし、経口投与で炎症を抑えています。

最近は屋外へ自分から出る様子も見られ、水浴びもしています。他のアヒルたちと日光浴をしている

事もあるので、クッションの上でゆっくりしているハニーを見かけたら、ぜひ応援してあげてください！※記事執筆後の11月26日に残念ながら死亡してしまいました。

教えて!!



○ペンネーム 匿名希望

Qクマ牧場のクマはなぜ冬眠しないんですか？

Aクマの冬眠(冬ごもり)は、冬になり山が雪で覆われると、クマの食べ物が少なくなってしまうので、この期間は穴にこもって寝て過ごします。ですが、クマ牧場のクマたちは毎日欠かさずエサをもらっているため冬眠をする必要がありません。とはいっても本能として備わっている機能ではあるので、クマ牧場のクマも冬の間は普段より寝ている時間が多くなります。



消防ホースの巣材で丸まって眠るクマの様子